

マメ科 ソラマメ属

カスマグサ (かす間草)

Vicia tetrasperma (L.) Schreb.

自生環境

野原、土手 など

原産地

日本在来

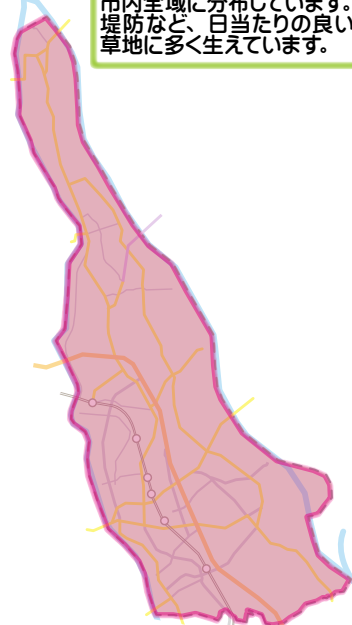
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域に分布しています。堤防など、日当たりの良い草地に多く生えています。



特徴

☆ 日当たりのよい乾燥した草原に生える1年草で、同じ仲間のカラスノエンドウ、スズメノエンドウとよくいっしょに生えています。茎がやわらかいため、草丈が高くなってくると自力で立てなくなってきました。そこで葉先にある巻きひげを使い、あちこちにつかまるようにして自分の体を支えます。

☆ 4～5月ごろ、葉のわきから長い柄を出し、その先に1～3個程度の薄い青紫色の花を咲かせます。果実の長さは1～1.5cmほどで下向きにつきます。果実のさやには毛が無く、成熟すると茶色くなります。さやの中にはふつう4個のタネが入ります。

☆ 名前は「カ」ラスノエンドウと「ス」ズメノエンドウの中「間」のような姿をしていることに由来します。ただカラスノエンドウとスズメノエンドウの雑種ではなく、独立したひとつの種類です。

アリの警備員を雇う

カスマグサやスズメノエンドウ、カラスノエンドウなどソラマメ属の植物の多くは、葉のつけ根の托葉に黒い点があります。この黒い点からは蜜が出て、アリを呼びます。「蜜をあげるので体中を歩きまわって、外敵を追い払ってください」という作戦なのです。ただ見ていると、アブラムシなど多くの虫に取りつかれていることが多く、この作戦はあまりうまく機能していないのかもしれません。



千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

